



七ヶ宿中学校 望湖克己学館だより

「わらじで歩こう七ヶ宿」活動報告!

今年は天候に恵まれ、生徒たちは運営スタッフとして参加者の方々と共に、楽しく活動することができました。生徒たちの言動に、町民の一人として町に貢献したい。自分の役割を果たしたい。という思いを強く感じました。皆が、それぞれの場所で一生懸命活動しました。後日、小関幸一町長より本校生徒に対し、御礼のメッセージが届きました。生徒一同、自分たちの活動を認めていただき、十分な成就感を得ることができたようです。



夏季休業中の作文課題の中で、「わらじで歩こう七ヶ宿」についてテーマに取り上げた生徒がおりました。原文のまま掲載いたします。

『後継者は私達』

七ヶ宿町立七ヶ宿中学校 三年 武蔵のあ

皆さんは、高齢化して後継者不足と聞いて何か感じるものはありますか。現在、日本人が直面している問題の一つです。私はやっとこの問題の大きさに気付くことができました。学校の行事のおかげで気付くことができたのです。

七ヶ宿町では、わらじで歩こう七ヶ宿というイベントがあります。参勤交代で使われていた十一キロの道を、時代衣装を着たりわらじを着用したりして歩くイベントです。中学生は、このイベントのスタッフとして全校参加しています。そこで役場の人に来てもらい、お話をいただきました。私は毎年このイベントに参加しているので特にメモをとる事もなく聞いていました。しかし、この時耳を疑うような事を聞いたのです。それは「わらじをお年寄り三人でつくっている。」という事です。

このイベントは毎年四百五十人以上が参加しているのです。それに対してわらじをお年寄り三人で作っているという現状に私は今すぐ力になりたいという気持ちと、自分の無力さを感じました。七ヶ宿を盛り上げるイベントであるわらじで歩こう七ヶ宿にわらじは必要不可欠です。しかし、わらじを作る後継者がいないのです。こんなに大変なのに、役場や大人は何もしていないのか、という人もいるかもしれませんが、役場の方でも様々な対応をしてくれています。このイベントでは、毎年ごみ箱にわらじが捨てられている事から、参加者にあらかじめ、わらじを希望するかのアンケートをとり、希望していると答えた方だけに渡しています。すると、約三割が希望しないと答えたそうです。しかし、私はそれでもわらじを作っている人の負担は大きいと考えます。このように、役場の人、主体となっている人にいつまでも頼ってはいけないと思うのです。周りの人が一人一人町のために貢献していく。こんな町になってほしいです。

私はこの現状を知り、力になりたいと思うようになりました。この気持ちは硬くゆらぐ事はありません。私は高校受験を控えながら勉強の合間に自分でできることを考えています。本来なら今すぐにもわらじの作り方を教わりに行きたいところですが、中三の私は時期的に不可能でした。なので私はジュニアリーダーの活動に取り入れたらどうだろう、と考えました。現在の私達は役場の方から提案して頂き、それに対し淡々とこなしていく。こういった活動をしてきました。しかし私は物足りませんでした。確かに、言われたことをきちんとこなせるのだから良いだろうと思いますが、ジュニアリーダーとして自ら誰かのために活動したいのです。そこで私は次のジュニアリーダーの定例会で提案する事を決めました。私は、いつもジュニアリーダーの活動の際、発言する事なく、任された仕事だけしてきました。私にとって勇気のいる行動ですが、いずれ町のためになる。そして自分自身が後継者になれる。この事から、自ら行動していきたいと思いました。

まだ実行していないので偉そうな事は言えませんが、各地域にもこういった様々な問題があると思います。今回の内容にあった後継者不足は、後からではもう遅いと思います。私達の世代が大人になってから、わらじの作り方を教えてもらおう。そういった考えでは甘いです。なぜなら、大人になったら私達が教えるべきだからです。そういったループを作っていかなければ後継者は減り、わらじなどは人々に忘れられていきます。医療の発達した今、高齢化はどんどん進む一方、それに比例するように後継者も不足していきます。少子化も進む日本の中、今を生きる私達で伝統を継いでいきたいです。



七ヶ宿小学校 学校だより

七つの里

最後まで全力で～限界まで全力を出し合う～ <町民体育大会に向けて>

「大会終了後は体力が0になっているくらい頑張りたい」という子供たちの思いが、スローガンになりました。4日に行われた代表委員会において決定した今年の町民体育大会のスローガンは「最後まで全力で～限界まで全力を出し合う～」です。子供たちは、毎日の全体練習に意欲的に取り組んできました。9月18日に行われた総練習では、スローガンの通り全力を尽くして頑張る本番さながらの勝負が展開されました。



6年生7人がプラカード、旗手、団長として先頭を務める堂々の入場行進です。

1年生は50m、2年生は60m、3～6年生は100mを走る真剣勝負。表情にもよく表れています。

<入場行進>



<記録に挑戦(徒競走)>



<紅白玉入れ>

練習では白組優勢でしたが、本番は波乱が予想されます。



<七小ソーラン2019>

今年は6年生が走順を決めました。実力伯仲でどのチームが勝つのが予想が付きません。

毎年進化を遂げている七小ソーランの演出。切れのある踊りにもご期待ください。



<七小全校リレー>

全校参加に向けて!七ヶ宿音頭講習会

<9/3 全学年>

今年で3回目となった恒例の七ヶ宿音頭講習会では、横川婦人部の方々をはじめ、関地区、湯原地区から計9名が来校され、熱心に指導をいただきました。今年度から町民体育大会の七ヶ宿音頭に全校児童が参加します。2～4年生は昨年、一昨年に踊りの指導を受けましたが、1年生はもちろんのこと、5、6年生もきちんと教わったのは初めてという子供が多かったようでした。町民体育大会当日は、中学生をはじめ大勢の方々と交えて一緒に踊ります。子供たちには、この機会に七ヶ宿の文化に親しんでほしいものです。



源流米を深く知る

<8/29 5・6年>



5、6年生の子供たちが、源流米学習の講師である三森さんに講義を受け、探究的な学習をスタートさせました。今後は学校田での体験的な活動と並行して、自ら設定した課題について調べ学習を展開し、源流米について深く追究していきます。その成果は12月13日(金)に開かれる発表会で披露する予定です。

3、4年生の子供たちが、湯原のそば畑に校外学習に行き、そばの花の観察を行いました。活動後に講師の山田さんが考案したそばのお菓子を頂いて食べた子供たちは大喜びでした。職員室でもその美味しさが話題になりました。

そばの花の観察

<8/27 3・4年>

